

秋田県日本語教育環境整備推進事業

(文部科学省「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用)

「秋田県日本語教育環境整備推進のための年次計画」に基づき、県内の日本語教育の環境整備に取り組んでいます。

令和7年度の取組

1 日本語学習機会の提供

- 市町村等への巡回・調査
- オンライン教室開設準備・教材の開発
- 実態調査の実施
- 地域日本語教育推進ネットワーク会議の開催
- 日本語教育関連ウェブサイト制作検討会の実施

主な取組の実績

市町村等への巡回・調査

- ・令和7年5～10月実施
- ・県内企業・団体3社
- ・9市町村

地域日本語教育推進ネットワーク会議〈オンライン開催〉

- 【第1回】令和7年8月5日(火) 【第2回】令和8年1月13日(火)
- 【内容】県の取組と計画に関する情報提供、各市町村の課題の共有と意見交換
- 【内容】県の取組報告、先進事例発表(陸前高田市、雲南市)

オンライン教室開設準備・教材の開発

令和8年度のオンライン教室開設に向けて、カリキュラム等の検討を行った。また、オンライン教室で使用するとともに、地域日本語教室の講師・支援者も自由に活用できる教材を開発。日本語学習支援の質の担保を図るため、オンライン学習の特性に対応した教材設計を行った。

【教材】

国際交流基金が制作している「いろどり」をベースに、秋田県での暮らしに必要なトピック(買い物、医療、交通、防災、地域行事等)に関する内容を加え、当県の生活に即した教材としている。

2 日本語教育の水準の維持・向上

- 日本語学習支援者の養成
- 日本語教育人材のスキルアップの支援
- 総括コーディネーターの配置
- オンライン交流会の開催
- 日本語教育人材バンク(あきた日本語サポーター)の運用
- 地域日本語教育エリアコーディネーターの配置に向けた取組

主な取組の実績

日本語学習支援者養成講座〈ハイブリッド開催〉

日本語学習支援者として不可欠な知識・技能を養う、初心者向けの基礎講座と、体系的な知識・技能および初心者等への助言・フォロー能力を養う、経験者向けの専門講座を開催した。地理的制約を考慮し、対面とオンラインによるハイブリッド形式で実施した。

◆初心者向け講座◆

- 【開催】令和7年10月18日(土)・25日(土)
- 【場所】北秋田市合川公民館
- 【参加者】会場18名、Zoom10名、YouTube33名
- 【内容】
 - ・「日本語教育」って何をやるの?
 - ・「異文化コミュニケーション」ってどんなもの?
 - ・「地域日本語教室」ってどんなところ?
 - ・地域に住む外国の方と話してみよう!

◆経験者向け講座◆

- 【開催】令和7年11月1日(土)・8日(土)
- 【場所】横手市交流センターY²プラザ
- 【参加者】会場24名、Zoom4名、YouTube21名
- 【内容】
 - ・最近の日本語教育事情とは?
 - ・地域日本語教室事例紹介
 - ・課題遂行型の日本語教育へ
 - ・指導・フィードバックのコツ

①学習機会の提供

- ・生活者に対する学習機会の提供
- ・ニーズ把握と情報発信

日本語教育の推進に向けた3つの方向性

②水準・維持の向上

教育人材と相談・支援体制の確保

③理解と関心の醸成

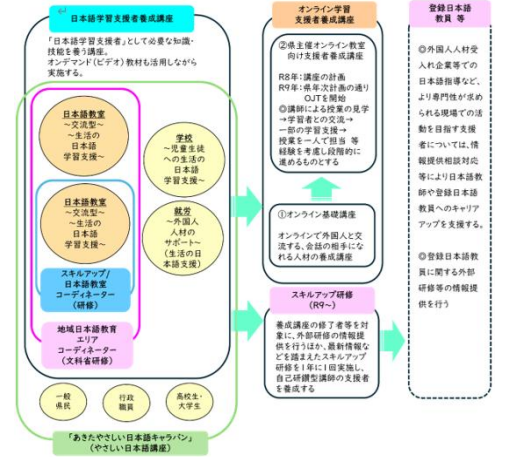
各主体の意識向上と多文化共生理念の普及・啓発

日本語教育人材バンク(あきた日本語サポーター)の運用

これまで「日本語学習支援者養成講座」を実施してきたが、中長期的な人材育成計画がなく、受講者を現場につなげる仕組みが課題となっていた。そこで、体系的な研修制度を構築し、人材バンク(あきた日本語サポーター)の運用と連動させることを目的として、令和8年度以降の制度開始を見据えた検討会を実施し、その在り方に関する報告をまとめた。

【検討会メンバー】(順不同)

- ・国際教養大学 准教授 嶋 ちはる 氏
- ・(公財)ひろしま国際センター 日本語常勤講師 犬飼 康弘 氏
- ・のしろ日本語学習会 代表 北川 裕子 氏
- ・総括コーディネーター、AIA、国際課



総括コーディネーターの配置

【配置】令和7年4月～

【総括CD】国際教養大学日本語プログラム 非常勤講師 平田 友香 氏

【相談実績】(R8.2.19現在)

- ・日本語教室担当者: 4件
- ・日本語学習支援者: 11件
- ・地域日本語教室: 7件
- ・市町村教育委員会: 1件



平田友香総括CD

※R8年2月に地域日本語教育コーディネーター研修修了

オンライン交流会

県内の日本語教育に関わる人材のネットワーク形成を促進するため、活動状況や実践事例、活動上の課題等を共有し、情報交換を行うオンライン交流会を開催した。

【開催・参加者】

- 令和7年5月17日(土) 13名
- 8月 9日(土) 14名
- 11月15日(土) 7名
- 令和8年2月21日(土) 11名



3 日本語教育等に対する理解と関心の醸成

主な取組の実績

あきた多文化共生フォーラム

在住外国人と県民が互いに暮らしやすい地域づくりを推進するため、日本語教育や多文化共生への理解促進を図る「あきた多文化共生フォーラム」を開催した。

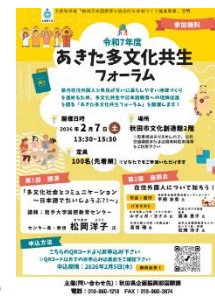
【開催】令和8年2月7日(土)13:30～15:30

【場所】秋田市文化創造館

【参加】38名

【内容】

- ◆第1部: 講演
「多文化社会とコミュニケーション
～日本語でだいじょうぶ?!～」
岩手大学国際教育センター松岡 洋子 教授
- ◆第2部: 座談会
「秋田での暮らし・交流と日本語について」
【パネリスト】在住外国人2名、外国人支援者1名、松岡教授



あきた やさしい日本語キャラバン

在住外国人とのコミュニケーションに有効な「やさしい日本語」の使い方を伝える講座を県内8市町で開催した。テレビや新聞でも複数回取り上げられ、PRIにもつながった。

【開催・参加者】

- ◆秋田市 令和7年6月27日(金) 57名
- ◆小坂町 7月23日(水) 22名
- ◆八峰町 8月28日(木) 22名
- ◆にかほ市 10月16日(木) 34名
- ◆北秋田市 11月12日(水) 15名
- ◆大仙市 12月17日(水) 29名
- ◆能代市 令和8年1月21日(水) 25名
- ◆五城目町 2月 4日(水) 24名
- 計 228名



(AIA自主事業との連携開催)

令和8年度の計画

計画年度2年目を迎える令和8年度では、令和7年度に準備を進めていたオンライン教室の開設をはじめ、新たな研修制度の開始や専用ウェブサイトの制作等、日本語教育の推進に向けた3つの方向性に基づく複層的な取組を更に進めていく。

1 日本語学習機会の提供

新規

- オンライン教室開設
- 市町村の積極的な取り組みの推進

継続

- 市町村等への巡回・調査（予定：3市町村）
- オンライン教材の提供・開発
- ネットワーク会議の開催（年2回）
- 実態調査の実施
- 日本語教育関連ウェブサイト・リーフレット制作



NEW! オンライン教室の開設

生活に必要な基礎的な日本語を学ぶオンライン日本語教室を開設し、県内どこに住んでいても参加できる学習機会を提供する。

【名称】「あきたオンラインにほんごきょうしつ（仮称）」

【開設】令和8年10月～令和9年3月（20回／コース）

【コース】4コース（入門1、入門2、初級1、初級2）

【定員】8名程度／コース

【対象】県内在住外国人で地域での生活に必要な基礎的な日本語能力が十分でなく、次のいずれかに該当する方

- ①居住市町村に地域日本語教室が開設されておらず、日本語教育を受ける機会がない方
- ②居住市町村に地域日本語教室は開設されているものの、仕事や家庭の事情、居住地が遠隔地であること等により、日本語教育を受けることが困難な方

【方法】Zoomにより開催



NEW! オンライン教材の提供・開発

R7年度に制作した教材をオンライン教室で使用するとともに、オンライン・対面で支援する地域日本語教室の講師・支援者が自由に活用できるように提供する。

【方法】県ウェブサイト等で教材を周知し、簡易な申請手続きおよび承認の結果を経て希望者へ提供予定

【開始時期】10月頃を予定

【教材】国際交流基金で制作している「いんどり」に、当県での暮らしに即した内容を加えた教材

NEW!

R9年度に開設予定の「読み書きコース」で使用する教材をR8年度に制作予定

NEW! 日本語教育関連ウェブサイト・リーフレット制作

在住外国人や地域日本語教室講師・日本語学習支援者、日本語教育や在住外国人との交流に興味のある一般県民等が、日本語教育に関する情報を容易に得られるよう、必要な情報を一元化した専用ウェブサイトを作成する。あわせて、ウェブサイトへの誘導を目的としたリーフレットを作成し、市町村と連携して住民登録窓口等で在住外国人に配布することにより、日本語学習の意欲が比較的高いとされる来日後の早い時期に日本語学習の機会につなげる。



2 日本語教育の水準の維持・向上

新規

- オンライン学習支援者養成講座の準備・検討
- 日本語教室コーディネーターの育成
- マッチングシステムの開発
- 地域日本語教育エリアコーディネーターの配置

継続

- 日本語学習支援者の養成
- 日本語教育人材のスキルアップ支援
- 日本語教育人材バンク（あきた日本語サポーター）の運用
- 総括コーディネーターの配置
- オンライン交流会の開催（年4回）

NEW! オンライン学習支援者養成講座の準備・検討



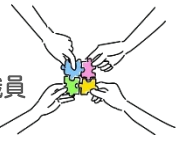
オンライン教室における学習支援に必要な実践的スキルの習得・向上を支援し、オンラインでの学習支援を担う人材を確保するため、令和9年度に開催予定の「オンライン学習支援者養成講座」の準備・検討を進める。

- 【対象】「日本語学習支援者養成講座」の修了生や地域日本語教室の支援者等
- 【内容(案)】
- ・基本的スキルの習得
 - ・専門家による授業の見学
 - ・オンラインでの学習支援OJTなど

NEW! 日本語教室コーディネーター研修

地域日本語教室の運営を調整・推進する役割を担う「日本語教室コーディネーター」を育成するための研修を開催する。研修は講義と実践を組み合わせた課題解決方式で実施し、教室運営に必要な実務能力等の向上を図る。

- 【時期】9月頃
- 【場所】秋田市内
- 【方法】オンライン1日、対面1日
- 【対象】日本語学習支援者、市町村担当職員
- 【内容(案)】
- ・コーディネーターの役割
 - ・プログラム・カリキュラムのデザイン方法など



NEW! マッチングシステムの開発

現在運用している日本語教育人材バンク（あきた日本語サポーター）について、登録情報の更新・管理やマッチング業務の省力化・効率化を図るため、マッチングシステムを構築する。

日本語教室の学習者OB・OGなど、日本語が堪能で日本語以外の言語もできる人材を（日本語母語話者以外も含めて）母語支援者として募集し、人材バンクへの登録を促す。

NEW! 地域日本語教育エリアコーディネーターの配置

市町村および地域日本語教室に対し学習支援プログラムに関する助言・企画立案支援、講師・支援者への支援、日本語教育全般に関する相談対応等を行うエリアCDを1名配置する。活動にあたっては総括CDと連携し、進捗状況等の情報共有を図りながら進めていく。

- 【配置エリア】県南地域を予定
- 【候補者】国際教養大学
日本語プログラム
非常勤講師 高橋 里帆 氏

日本語教育人材のスキルアップ支援

「日本語学習支援者養成講座」の修了者等を対象に、通年で外部研修の情報提供を行い、自主的に学び続ける「自己研修型」日本語学習支援者の養成を図る。

※年次計画では、R8年度よりスキルアップ講座を開催予定だったが予算の都合上、R9年度へ延期。

日本語学習支援者養成講座

地域日本語教室講師・日本語学習支援者として不可欠な知識・技能を養うことができる基礎講座と、日本語教育に関する体系的な知識・技能と初心者等への助言・フォローを行う能力を養うことができる専門講座を開催する。

◆ビギナーコース（支援経験0～3年程度）

- 【時期】7月頃
- 【場所】県北or県南
- 【内容(案)】
- ・やさしい日本語体験ワーク
 - ・難しい日本語をやさしく言い換えるロールプレイ等

◆アドバンスコース（支援経験3年以上）

- 【時期】11月頃
- 【場所】中央or県南
- 【内容(案)】
- ・実践共有ワーク
 - ・事例検討等

※どちらもオンデマンド・オンライン1日、対面1日の計2日の開催を予定

NEW!

日本語学習支援者として必要な基礎知識や基本的な支援スキル、身につけておくべき内容等をビデオ教材として制作予定

3 日本語教育等に対する理解と関心の醸成

あきた多文化共フォーラム

多文化共生や日本語教育の意義について理解促進を図るため地域住民（高校生・大学生も含む）、関係者を対象にしたフォーラムを年1回開催する。

- 【時期】11月頃
- 【内容(案)】
- ・有識者等による講演
 - ・「あきたで働く」等をテーマとした座談会等

あきた やさしい日本語キャラバン

在住外国人との円滑なコミュニケーション手段として有効な「やさしい日本語」の使い方等を伝える講座を開催する。（AIA自主事業との連携開催）

【場所】7市町村（予定）

※令和7年度～10年度で全市町村での開催を予定